



一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

TEL:092-473-7673 FAX:092-473-7278

<https://www.f-aa.jp> E-mail : info@f-aa.jp

## 目次 -Contents-

1	福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告	2
2	令和6年度 建築士事務所キャンペーンのご報告	10
3	令和6年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会 第1回会長会議報告	11
4	令和6年度 九州・沖縄設計4団体セミナー・懇談会報告	12
5	第46回建築士事務所全国大会（福井大会） 参加報告	13
6	青年話創会2024 福井大会参加報告	14
7	女性交流会2024 福井大会参加報告	14
8	表彰関係	15
9	会議のご報告	16
10	各支部・地域会よりお知らせ	20
11	会員動静	25
12	役員さんの徒然雑記	26

## 1

# 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

令和6年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。今年は高等学校の部3校より計13作品、専門学校部の部3校より計77作品のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式・展示会が11月7日に久留米シティプラザにて行われました。

また令和6年11月25日～11月29日には福岡市役所 1階市民ロビーにおいて作品の展示会を開催致しました。

## 経 過

- 令和6年 6月 3日………関係校へ課題を通知、応募期限を9月30日とする。  
 6月28日～9月2日………広報・渉外・教育・研修委員による出前授業を実施。  
 9月30日………提出校、高等学校の部3校13作品、専門学校部の部3校77作品。  
 10月 7日………応募作品の課題条件の適合について予備審査を実施。  
 10月 8日………審査員が集合し本審査を開催。得点方式にて受賞候補作品を選出し、議論を重ねた結果、各賞が決定。  
 11月 7日………久留米シティプラザにおいて表彰式を開催。同会場にて作品展示会を開催。  
 11月25日～29日………福岡市役所1階市民ロビーにおいて作品展示会を開催。

## 審査委員名

- 【審査委員長】岡田 知子 岡田知子建築設計室 代表（西日本工業大学 名誉教授）
- 福岡県建築都市部長 ●福岡県教育長 ●北九州市都市戦略局長 ●福岡市住宅都市局長、
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長 ●(公社)福岡県建築士会会長 ●(公社)日本建築家協会九州支部長
- (一社)福岡県建築士事務所協会会長

## 協 賛

- (一財) 福岡県建築住宅センター

## 後 援

- 福岡県 ●福岡県教育委員会 ●北九州市 ●福岡市
- (公社)福岡県建築士会 ●(公社)日本建築家協会九州支部

## 参加者の皆さまへの御礼

令和6年度の建築設計競技は高等学校の部で13作品、専門学校部の部で77作品のご応募をいただきました。主催者側を代表し、ご応募いただきました皆様に感謝申し上げます。

今年度は「公共空間のトイレ」を共通テーマとして、高等学校の部では「学校のトイレ」、専門学校部の部では「みんなのトイレ」という例年とは趣の異なる課題となりました。

トイレという実生活に密接に結びついた小さな空間から、どのように自由な発想を展開して提案を行うかが求められました。特に今年は高等学校の部において、従来の「手描きによる表現に限定する」という制約をなくし、CADやCG等の使用も可としプレゼンテーションの方法を自由化しました。各自が得意とする表現手法により、自由な発想を行っていただくことが狙いでした。やや難しい課題ではあったかと思いますが、ユニークな着眼点により個性豊かな作品を多数お寄せいただきました。

学校行事や就職活動等でお忙しい中、真剣に取り組んでいただいた生徒・学生の皆様の努力に深く敬意を表します。また熱心にご指導いただいた各学校様・先生方に深く感謝申し上げます。ぜひ来年度以降も本建築設計競技にご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後に課題作成等多岐にわたりご協力いただきました岡田審査委員長をはじめ、ご支援いただきました関係諸庁、各団体の皆様に心より御礼申し上げます。

(一社)福岡県建築士事務所協会 広報・渉外・教育・研修委員会  
委員長 高桑 圭輔

計画趣旨

トイレは人々の生活において必要不可欠なもので、住宅はもちろんオフィス、学校、公共施設、公園などあらゆる場所に設置されています。特に公共空間のトイレはこの20～30年、劇的に変わり、清潔で利便性の高い快適な空間が当たり前になってきました。かつては汚い、臭い、暗い場所であり、単なる排泄の場所、ご不浄とって、忌み嫌う場所に位置づけられていました。

トイレの系譜を簡単にみても、今や主流になった洋式トイレが日本に導入されたのは、明治時代の終わりから大正時代にかけてです。

1950年代から1960年代にかけて、経済成長とともに都市化が進行し、下水道等のインフラが整備されると共に水洗式トイレが普及しました。これにより、衛生面や利便性が大幅に向上し、同時に洋式トイレの普及も進み、和式トイレから徐々に置き換えられるようになりました。

その後、温水洗浄便座(ウォシュレット)が普及し、使用後の清潔さや快適さが向上し、世の中のトイレに対する価値観が変化しました。

最近の動向をみるとインクルーシブな社会構築の一環として誰もが安心して快適に利用できるトイレ空間を目指した以下の取り組みがあります。

・オールジェンダートイレ(男女共用お手洗)

性別に関係なく誰でも利用できるトイレのことを指します。男女別のトイレではなく、個室のトイレが複数設置されている場合が多いようです。背景には多様な障害者それぞれに多様な使い方や要望があること、LGBTQIA+の人々も多様で求められるトイレは一律でないこと、によるものです。

[https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/allgender\\_toilet/](https://www.ecomo.or.jp/barrierfree/pictogram/allgender_toilet/)

・オルタナティブトイレ

オールジェンダートイレに抵抗を感じる人が少なくないようです。そうした現状をふまえて、すべてを男女共用にするのではなく、状況に応じて男女共用と男女別、さらには、車椅子ユーザーなどにも配慮した個室を選択できるトイレ空間となっています。性別だけでなく、障害のある人や子連れの人など、誰もが選択肢を持てるように計画された公共トイレの提案です。

・THE TOKYO TOILET

性別、年齢、障害を問わず、誰もが快適に利用できる公共トイレを渋谷区内17カ所に設置したプロジェクトです。それぞれのトイレのデザインには、16人の建築家やデザイナーが参画しました。映画の舞台にもなり、注目をあびており、観光資源にもなっています。結果として、まちの価値を上げることに寄与し、まちづくりの点からも成功事例といえます。

今後、公共空間のトイレは技術の進化に伴いより衛生的になり快適性が増し、安全性、利便性も追求されるでしょう。さらに利用者のニーズの多様化は多様な設備やサービスの提供を求めることになるでしょう。また、環境への配慮と持続可能性への取り組みはもちろんのこと日々の管理やメンテナンスへの考慮、災害への対応についても重要性が増すものと考えられます。



### 計画趣旨

君たちが通う学校内にみんなのトイレを計画する。計画するトイレは1箇所でも良いし、複数箇所でも良い。また、その規模も規定しない。今後、入学してくる後輩が使用することを想定し、どこにどのようなトイレを提供すべきかを考えて欲しい。現状の建物に制限されず逸脱して計画しても良いこととする。また、必要とあればトイレ以外の機能を有する空間を付加しても良い。なお、利用者は生徒のみを対象としても良いし、教職員、来訪者など多様な人々を含めても良い。

共通テーマを読み、君たちの経験から学校におけるトイレのあり方を提案して欲しい。

### 計画条件

#### ■ 1) 敷地

- 面積……………問わない。
- 用途地域……………指定なし。

#### ■ 2) 建物

- 面積……………問わない。
- 構造・階数……………問わない。
- その他……………建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。

#### ■ 3) 提出図面

- 用紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- 提出内容・計画主旨
  - ……………提案に相応しいタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現すること。
  - ・ 配置図 縮尺適宜
  - ・ 平面図 1：50～1：100
  - ・ 立面図 1：50～1：100
  - ・ 断面図 1：50～1：100
  - ・ 敷地説明 設定敷地が判る地図および周辺を含めた敷地写真を添付すること。必ず現地を訪れ、敷地周辺が判るように自身が撮影すること。（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）
  - ・ 必要と思われるもの（パース、模型写真、ダイアグラムなど適宜判断のこと。）  
設定敷地が判る地図および周辺を含めた敷地写真を添付すること。
- 条件……………表現方法は手描き、CAD作図、模型写真、CG等自由とする。  
図面には面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線（面積が計算できる程度）、室名を記入すること。  
※与条件は必ず守ること。与条件以外は自由に判断すること。

※今年度は試験的にプレゼンテーションについて特に制限を設けないこととします。

高校生の製図学習においては手描きが原則であり、建築士の製図試験も手描きであります。手描きによる製図技術の取得や手描きスケッチ・パースによる表現は設計における創造の根幹をなすものであることは論を待たないものです。各学校様におかれましてもまずは手描きによる製図カリキュラムの基本とし、ご指導されていることとご推察いたします。

その一方でデジタル機器・ソフト・アプリ等による表現手法が発達してきている今日、表現の枠組みを広げる意味において、プレゼンテーションに制限を設けないことで、より創造性を発揮していただけるのではないかと期待があります。

今年度の条件緩和につきましては上記のような考えに基づいております。審査に当たってはプレゼンテーション能力も評価項目の一つではありますが、例年通りあくまでも提案内容を第一に評価するように取り組んでまいります。今年度の試験的な条件変更についてご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### 計画趣旨

誰もが安心して利用できるトイレを計画する。計画する場所は屋外、屋内を問わない。トイレは1箇所でも良いし、複数箇所でも良い。また、その規模も規定しない。また、必要とあればトイレ以外の機能を有する空間を付加しても良い。

計画する場所に相応しく、今後求められる社会のニーズに答えるべく、みんなのトイレとしての役割を深く考えそのあり方を提案して欲しい。

### 計画条件

#### ■ 1) 敷地

- 面積……………問わない。
- 用途地域……………指定なし。

#### ■ 2) 建物

- 面積……………問わない。
- 構造・階数……………問わない。
- その他……………建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。駐車スペースは有無も含めて適宜判断で良い。

#### ■ 3) 提出図面

- 用紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。

##### ● 提出内容 ・ 計画主旨

……………提案に相応しいタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現すること。

- ・ 配置図 縮尺適宜
- ・ 平面図 1：50～1：200
- ・ 立面図 1：50～1：200
- ・ 断面図 1：50～1：200
- ・ 敷地説明 設定敷地が判る地図および周辺を含めた敷地写真を添付すること。必ず現地を訪れ、敷地周辺が判るように自身が撮影すること。  
（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）
- ・ 必要と思われるもの （パース、模型写真、ダイアグラムなど適宜判断のこと。）

- 条件……………提出物の表現方法は問わないが、図面には面積表、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線（面積が計算できる程度）、室名を記入すること。  
※与条件は必ず守ること。与条件以外は自由に判断すること。





# 応募総数・入選者一覧

## 高等学校の部

### 応募校と 応募数

田川科学技術高等学校	作品数	1 作品
戸畑工業高等学校	"	5 作品
博多工業高等学校	"	7 作品

計 3 校 13 作品

### 個人賞

● 知事賞	戸畑工業高等学校	3 年 野口直希
● 福岡県教育委員会賞	博多工業高等学校	3 年 倉橋親海
● (一財) 福岡県建築住宅センター理事長賞	戸畑工業高等学校	3 年 井上弘斗
● 会長賞	戸畑工業高等学校	3 年 溝上淳也
● (公社) 福岡県建築士会会長賞	博多工業高等学校	3 年 石川亮太
● (公社) 日本建築家協会九州支部支部長賞	博多工業高等学校	3 年 岩室和寿
● 優秀賞	田川科学技術高等学校	2 年 永末法華

※敬称略/順不同

### 団体賞

戸畑工業高等学校

## 専門学校の部

### 応募校と 応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	54 作品
九州職業能力開発大学校	"	8 作品
福岡建設専門学校	"	15 作品

計 3 校 77 作品

### 個人賞

● 知事賞	麻生建築&デザイン専門学校	2 年 焼山さやか
● 福岡県教育委員会賞	福岡建設専門学校	2 年 中里由香
● (一財) 福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2 年 中尾茜
● 会長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2 年 白石結莉
● (公社) 福岡県建築士会会長賞	九州職業能力開発大学校	2 年 白石朱麗
● (公社) 日本建築家協会九州支部支部長賞	麻生建築&デザイン専門学校	1 年 松迫夕希代
● 優秀賞	福岡建設専門学校	2 年 岡部凌
● 佳作	麻生建築&デザイン専門学校	1 年 田中結里
● 佳作	麻生建築&デザイン専門学校	2 年 榎枝風花
● 佳作	麻生建築&デザイン専門学校	1 年 大村虎鉄
● 奨励賞	麻生建築&デザイン専門学校	2 年 鶴野好花
● 奨励賞	麻生建築&デザイン専門学校	1 年 犬山小春

※敬称略/順不同

### 団体賞

麻生建築&デザイン専門学校

共通テーマ 『公共空間のトイレ』

高等学校の部 課題：『学校のトイレ』

専門学校の部 課題：『みんなのトイレ』

今年度の共通テーマである公共空間におけるトイレはこれまで排泄する空間であってそれ以上でもそれ以下でもありませんでしたが、清潔で快適な空間へと変貌したことに伴い公共空間のトイレに求められる機能が多様化してきたといえます。特に個室ブースにいたっては一人になれる空間、逃げ込める空間、人目を気にせず多様な行為を可能とする空間、といったようにこれまでトイレにいたっていたマイナスのイメージはもはや無くなりつつあることに改めて驚かされました。

一方でバリアフリー化が進み、多様な障害者が外出しやすくなり新たな課題が見えてきたこと、また、多様な性的指向に対して社会の理解が深まってきたことなどにより見た目にわからない障害も含む多様な利用者に配慮した環境づくりが公共空間のトイレに求められるようになり、様々なトイレが提案されており、過渡期といえます。現在、主流の男女別トイレ+だれでもトイレの組み合わせを越えるような空間はどのようなものなのか、社会の成熟と共に変化していくものと考えられますが、今回寄せられた作品からその片鱗を感じることができ、興味深かったです。

また、トイレの設計を通してそれぞれが抱える課題を解決しようという姿勢が見られる作品が多かった点は良かったと思います。改めて建築は社会的影響力が大きい存在であることを再認識すると共に教育に反映されていると感じました。

高等学校の部 総評

日頃感じているトイレについて素直な気持ちが提案に反映されている作品が多く、とても興味深かったです。その視点は多岐にわたり、これからの学校のトイレのあり方を考えさせられる内容でした。

専門学校の部 総評

コンセプトの組立から相応しい敷地や環境を設定し、その環境、文化、地域の特性や課題等を注意深く読み取り、計画に巧く反映し、提案する、この一連の内容がわかりやすく表現方法を駆使してまとめられている作品がやはり評価が高かったといえます。



知事賞

野口 直希 (戸畑工業高等学校 3年)

# 憩いの厠

## 設計趣旨

トイレに行く時、あなたはどのような目的でそこに向かうのだろうか？ある人は用を足すため、またある人は着なちを整えるため、そのまたある人は気分を落ち着かせるために行くのだろうか？実際にある調査では、仕事のモチベーションに影響する場所の第1位が「トイレ・化粧室」という事が分かった。つまり、トイレというのはあらゆる事柄を一度リセットさせる場所でもあると捉える事ができる。私のような場所を決められるものは「快適さ」という結論に至った。そこで私は「リセット」させる場を「クールダウン」する場所を設け、憩いの場を作るように考案した。

この点を踏まえ、私はこのトイレを設計した。

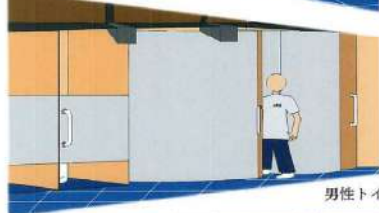
敷地面積	4071.51 m <sup>2</sup>
延床面積	548.73 m <sup>2</sup>
延床積算	148.73 m <sup>2</sup>

## 敷地について

福岡県北九州市戸畑区戸畑3丁目1番1号  
このトイレは学校のグラウンドに建てられるものである。敷地の周辺は、近所が商業地であり、近下校中や中での設置が、体育等の授業中に利用可能である様に設定した。



女性トイレ



男性トイレ

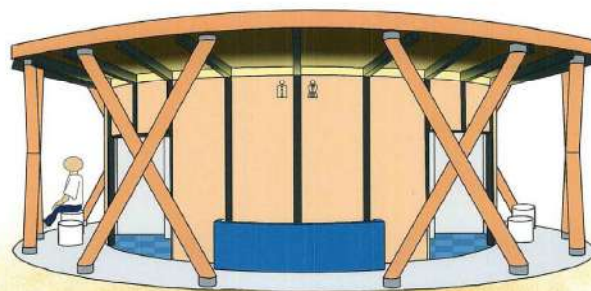
## 個室

個室を設け直すことで、戸畑部を確保する。また、この個室を設けることで、気分を落ち着かせる。リフレッシュできる空間をつけた。

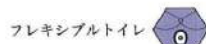
## 屋根伏図



屋根に溜まった雨水を中央に集め、その水をろ過し、トイレの水に再利用する。

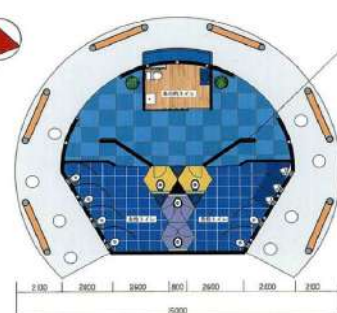


ジェンダーレス トイレ



フレキシブルトイレ

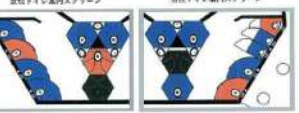
このトイレは性別区分に応じて男女の個室が変化するトイレである。例えば、男性トイレの個室のみならず女性トイレの個室にも設置する事ができる。逆に女性トイレが個室のみならず、男性トイレの個室にも設置する事ができる。



平面図 1/100

## 案内スクリーン

トイレの利用状況を一目で分かる様に出入口の壁に設置している。



パキラ

構造

パキラには防音・防湿・防臭効果があり、このトイレは、内内張りや壁を断熱材で覆っている。パキラは断熱材に覆われており、断熱効果が高い。また、断熱材に覆われており、断熱効果が高い。また、断熱材に覆われており、断熱効果が高い。



A-A 断面図



東立面図



北立面図



西立面図

## 講評

トイレの利用状況に応じて男女の個室数が変化するように考えられている点がユニークです。また、ジェンダーレストイレの採用、男性小便器の個室化、雨水利用などの提案が一枚の作品としてきれいにまとめられ、図面表現もわかりやすく表現されていて良くできています。



## 受賞者コメント

この度は知事賞を頂き、とても嬉しく思います。またご指導いただきました先生方、審査員の皆様にも深く感謝致します。

作品を製作するにあたって、自分が思い描く理想のトイレを図面に落とし込むことにはかなり苦戦しました。しかし、これも設計の醍醐味と思い、終始楽しみながら取り組んでいきました。

この経験を糧に、今後とも、楽しみながら努力する姿勢を忘れず励んでいきたいと思っております。

野口 直希 (福岡県立戸畑工業高等学校 3年)

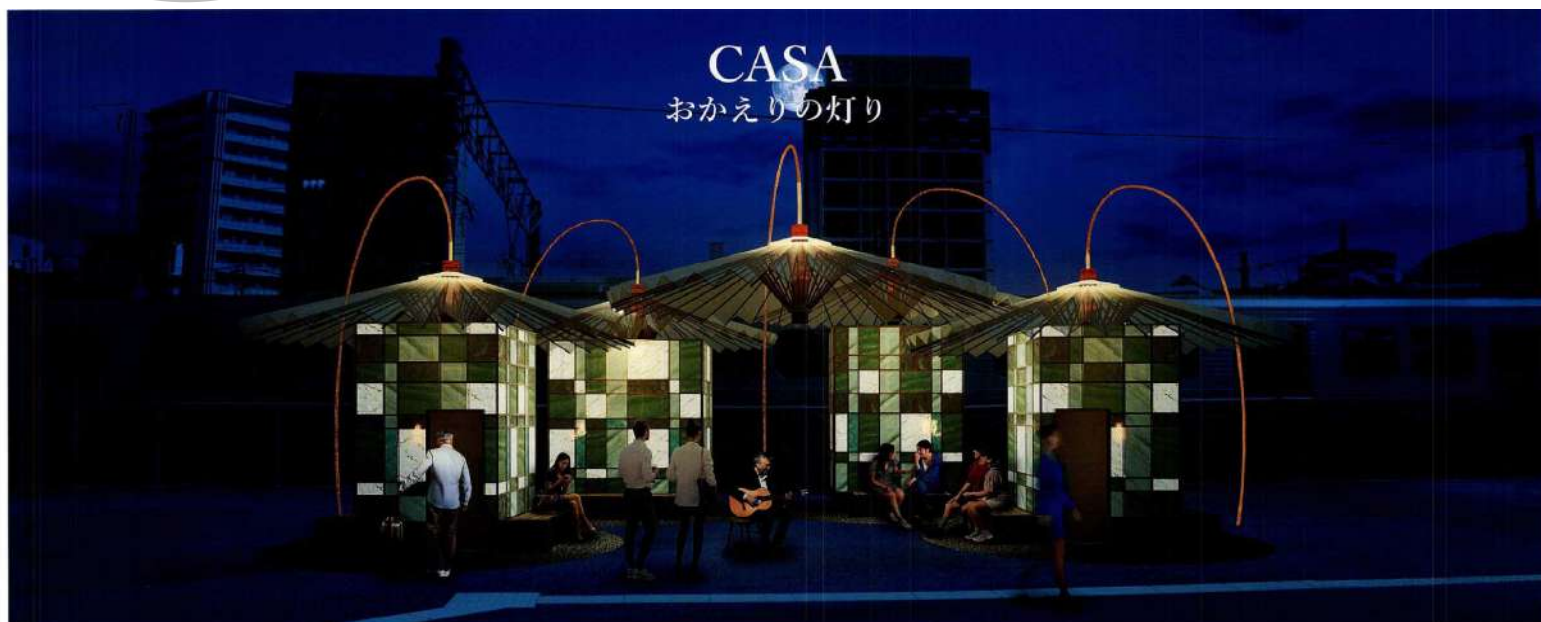


# 受賞作品紹介

# — 専門学校生の部 —

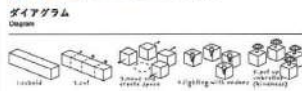
知事賞

焼山 さやか（麻生建築&デザイン専門学校 2年）



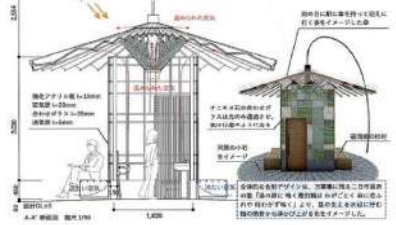
計画地について— 1月 2日市駅西口広場の建替—  
About the Planned Sites at the West Square of JR Pitsubashi Station

西 2日市駅は、福岡県筑紫野市の中心地に位置し、周辺住民にとって重要な交通拠点である。2025年3月の開業を目前にした西2日市駅西口の改修工事が行われているが、駅前広場としての機能向上を図るための計画が、駅前広場と一体として進められている。駅西口には、これまで高層ビルが立ち並び、緑地がほとんどなかった。計画は駅前広場を、緑豊かな空間へと変え、駅周辺の魅力を向上させる。また、駅周辺の緑地を、緑豊かな空間へと変え、駅周辺の魅力を向上させる。また、駅周辺の緑地を、緑豊かな空間へと変え、駅周辺の魅力を向上させる。



コンセプトは「おかり」  
The concept is "Welcome Home"

現在の少人数トイレの課題「清潔感の維持が難しい」を、新しいトイレは「清潔なお家のような温かみのある空間」を演出する。また、二日市は温泉地であることから、お家のような温かみのある空間を演出する。また、二日市は温泉地であることから、お家のような温かみのある空間を演出する。また、二日市は温泉地であることから、お家のような温かみのある空間を演出する。



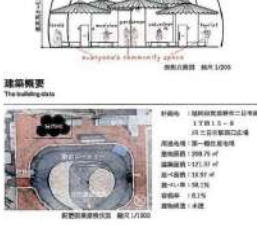
「オルタナティブトイレ」で多様なニーズに答える  
Meeting Diverse Needs with Alternative Toilets

設計に際し、地元の社会情勢を考慮し、『オルタナティブトイレ』を開発した。オルタナティブトイレとは、性別や障別を問わず利用できるトイレのことである。このトイレは、性別や障別を問わず利用できる。このトイレは、性別や障別を問わず利用できる。このトイレは、性別や障別を問わず利用できる。



トイレから始まる、新しい広場の使い方  
Exploring new uses for the plaza, beginning at the restroom

レンガブロックを素材とし、多様な用途に活用する。また、レンガブロックを素材とし、多様な用途に活用する。また、レンガブロックを素材とし、多様な用途に活用する。また、レンガブロックを素材とし、多様な用途に活用する。



## 講評

現在、整備されている公衆トイレは殺風景で温泉地の風情が感じられないなど課題があるため、温かみのあるトイレを設置することで街の価値を向上させようというコンセプトのもと、「灯り」というキーワードを導き出し、わかりやすく美しくまとめられている点が高く評価されました。



## 受賞者コメント

このたびは名誉ある賞を頂き、ありがとうございます。主催者様やご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。疲れて帰る人が癒される温かな雰囲気トイレを設計し、評価をいただけて嬉しいです。今後も「元気になれる空間」をつくる建築士を目指し、努力してまいります。

焼山 さやか（麻生建築&デザイン専門学校 2年）

## 2

## 令和6年度 建築士事務所キャンペーンのご報告

■日 時 令和6年11月7日(木) 12:30~17:00

■会 場 久留米シティプラザ 4階Cボックス  
(久留米市六ツ門町8-1)

■主 催 一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

■共 催 一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

《第一部 基調講演》12:30~14:00(来場者83名)

「壁を創る人たち」

講師 原田 進 氏

- ・株式会社 原田左研 親方
- ・(一社)日本左官会議 初代議長

《第二部 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による  
建築設計競技表彰式・作品講評会》  
14:30~17:00(来場者 109名)

課題

▶ 高校生の部  
『学校のトイレ』

▶ 専門学校生の部  
『公共空間のトイレ』

※受賞作品は11月7日(木)に久留米シティプラザに展示、  
11月25日(月)~11月29日(金)まで福岡市役所1階多目的スペースに展示いたしました。

◎ 懇親会(参加者 55名)

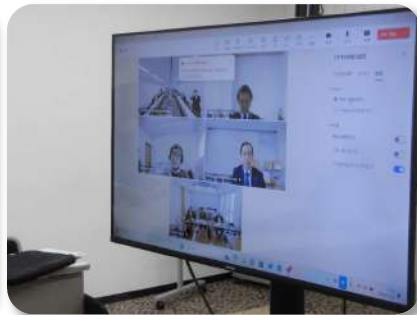
■日 時 令和6年11月7日(木) 18:30~20:00

■会 場 萃香園 2階鶴の間(久留米市櫛原町87)



## 令和6年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会 第1回会長会議報告

- ◆ **日時** 令和6年11月29日（金）午後2時00分～午後5時00分
- ◆ **会場** リファレンス駅東ビル2階
- ◆ **出席者** 福岡会4名、佐賀会2名、長崎会1名、熊本会3名、大分会2名、宮崎会3名、鹿児島会1名、沖縄会3名
- ◆ **協議事項**
  - ▶ 1. 開会
  - ▶ 2. 九州・沖縄ブロック協議会 会長挨拶
  - ▶ 3. 協議事項
    - ① 8月に宮崎県南部で発生した地震による被害状況と南海トラフ地震発生に対する対策について
    - ② 台風10号による被害状況と地方自治体の対応について
    - ③ 会員増強策について
    - ④ 「建築士事務所協会」への入会義務化について
    - ⑤ 建築基準法に基づく建築物の定期報告に関する業務報酬基準について
    - ⑥ 適正な業務報酬確保のため、ブロックで陳情することについて
    - ⑦ 事務所登録等申請手数料に係る情報の共有について
    - ⑧ 事務所登録手数料の見直しに関する各県の進捗状況等について
    - ⑨ 国土交通省告示第8号の民間業務への適用について





- ◆ **日時** 令和6年10月21日（月） 14:00～16:30
- ◆ **会場** 共創館カンファレンス C会議室
- ◆ **出席者** （公社）日本建築士会連合会、（一社）日本建築士事務所協会連合会、（公社）日本建築家協会、（一社）日本建築構造技術者協会、の各単位会、支部、地域会等の25団体より45名参加
- ◆ **司会進行** （公社）熊本県建築士会
- ◆ **懇談会次第**
  - ▶ 1. セミナー
    - ①能登半島地震状況調査について
    - ②「災害後も住み続けられるまちづくり」  
—美しくタフな建築・まちづくりを目指して—  
【（一社）日本建築構造技術者協会九州支部】
  - ▶ 2. 懇談会
    - ①鉄骨製作図問題の是正・解消に向けたお願い  
—（一社）全国鉄構工業組合要望書について—
    - ②被災建築物応急危険度判定ネットワークの構築について
    - ③人材確保について
    - ④1981年～2000年までに確認申請を得られた戸建て木造住宅に関する耐震化促進の取組み状況について
    - ⑤九州・沖縄設計4団体災害ネットワーク情報更新の確認について
    - ⑥今後の開催地について
    - ⑦次年度幹事及び担当事務局について
- ◆ **懇親会** 日時：令和6年10月21日（月）17時00分～19時00分  
会場：福岡東映ホテル1階 ビストロ アトリ



## 第46回建築士事務所全国大会（福井大会） 参加報告

- 大会テーマ 未来を拓く まち・ひと・建築
- 大会スローガン 私たちはデザインする 考福なまち・次世代を担うひと・つなぐ建築
- 開催日 令和6年10月11日（金）
- 会場 フェニックス・プラザ  
コートヤード・バイ・マリオット福井（記念パーティ）
- 大会式典
  - 10：00～11：00 日事連建築賞表彰式
  - 13：00～14：15 基調講演  
 テーマ「未来を拓くまち・ひと・建築」  
 隈研吾氏（隈研吾建築都市設計事務所、建築家、  
 東京大学名誉教授・特別教授）
  - 14：30～15：15 トークセッション  
 テーマ「地方の未来に建築が果たす役割」  
 隈研吾氏（隈研吾建築都市設計事務所、建築家、  
 東京大学名誉教授・特別教授）  
 進士五十八氏（福井県立大学前学長）
  - 15：30～17：00 第46回建築士事務所全国大会（福井大会）式典  
 歓迎挨拶、日事連会長挨拶、来賓祝辞、  
 日事連建築賞審査講評・表彰、年次功労者表彰、  
 会員増強単位会表彰、大会宣言  
 第47回開催地新潟会会長挨拶、大会旗伝達
  - 17：30～19：00 記念パーティ  
 歓迎挨拶、来賓祝辞、乾杯、歓迎アトラクション、  
 第47回開催地PR（新潟会）
- 福岡会参加人数 福岡地域会12名、北九州支部5名、県南支部8名、筑豊支部2名



## 6

## 青年話創会2024 福井大会参加報告

- テーマ 「次世代へ紡ぐ」
- 開催日 令和6年10月10日（木）
- 会場 ハピリンホール
- プログラム 14:00～17:00 大会実行委員長等挨拶  
青年組織活動報告等  
テーブル討議  
「青年世代がつくるこれからの働き方」  
総括  
17:30～19:00 懇親会
- 福岡会参加人数 福岡地域会2名、北九州支部1名、県南支部1名 合計4名参加

## 7

## 女性交流会2024 福井大会参加報告

- テーマ 「つなぐ建築、になう人 ～今、私たちが考え、できること～」
- 開催日 令和6年10月11日（金）
- 会場 フェニックス・プラザ
- プログラム 10:00～12:30 挨拶・単位会紹介  
ワールドカフェ・講演会  
総括
- 福岡会参加人数 福岡地域会2名、北九州支部2名、県南支部2名 合計6名参加

## 令和6年度 日事連建築賞受賞報告

## ● 奨励賞 一般建築部門：対馬博物館 (株)石本建築事務所 九州オフィス(福岡地域会)

古代より日本と大陸の交流の玄関口となった対馬の歴史系博物館である。古代から近世までの歴史を対象とし、江戸時代に朝鮮との外交を担った対馬藩宗家の記録である宗家文書が主要な収蔵品である。

敷地は宗家の居城であった金石城跡であり、歴史的な景観を維持し古代より重層する歴史の重さに耐える建築を目指した。宗家文書を収める収蔵庫は分厚い陶板で覆われた強固なボリュームとして建物の中央に配置し、その他の機能が囲む。機能ごとにふさわしいマテリアルで性格付けされたボリューム群をいぶし銀に光る大屋根が覆う構成である。



建設地：長崎県対馬市 用途：博物館  
構造：RC造、一部S造 階数：地上3階  
敷地面積：6,279.76㎡  
建築面積：3,253.63㎡ 延面積：5,028.72㎡

## ● 奨励賞 小規模建築部門：鳥飼八幡宮式年遷宮 二宮設計(福岡地域会)

1,800年の歴史を有する神社の式年遷宮における本殿・拝殿の建て替えと仮宮の新設。地域のつながりや氏子意識が薄れゆく風潮の中で、歴史と伝統を踏まえた上で神社を現代に最適化したいという宮司の想いに応えるため、境内の整備と社殿の新設を計画し、再び人々が集う神社の未来を模索した。本殿は高床校倉の神明造りとし、拝殿は御影石と茅壁によるい祈りの空間である。造営中に使用する仮宮は、光あふれる簡素な県産材架構による木造空間とし、遷宮後も常設とするため、境内の見通しを損ねないよう透過度の高いガラスで囲った。



建設地：福岡県福岡市中央区 用途：神社  
構造：木造、RC造 階数：地上3階  
敷地面積：1,343.94㎡  
建築面積：258.92㎡ 延面積：208.26㎡

## 年次功労者表彰受賞者の報告

## ● 金子 幸生 氏 日建建設(株) (福岡地域会) 会務代表者

当協会の運営並びに事業の実施に関して著しい功績を挙げ、日事連の発展に寄与された功績により、令和6年度年次功労者表彰を受賞されましたのでご報告いたします。



## 令和6年度 第7回常任理事会報告

**日時** 令和6年10月8日(火)16:00～17:30

**会場** 舞鶴DSビル なごみA会議室

**出席者** 会長、副会長、常任理事、事務局12名参加

### 議題

#### 1. 協議事項

- [ 1 ] 中間監査日程について
- [ 2 ] 事務所登録手数料の見直しについての福岡県への再要望について
- [ 3 ] 令和6年度建築士事務所キャンペーン進捗状況と最終協議について
- [ 4 ] 令和6年度九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催について
- [ 5 ] (仮称)太平洋沿岸地域地震等対策協議会開催について
- [ 6 ] 令和6年度九州・沖縄設計4団体懇談会について
- [ 7 ] 福岡建築倶楽部BIM推進協議会開催日程調整案内について
- [ 8 ] 賛助会員の福岡県建築登録センター内事務所開設について
- [ 9 ] 中大規模木造建築普及シンポジウムの共催依頼について〔(一社)日本建築構造技術者協会九州支部〕
- [ 10 ] 会誌『日事連』寄稿のお願いについて
- [ 11 ] 「鉄筋コンクリート構造計算規準」改訂講習会後援名義の使用依頼について

#### 2. 報告事項

- [ 1 ] 第46回建築士事務所全国大会(福井大会)関係当日予定について
- [ 2 ] 県本部賛助会会員、福岡県鉄構工業会からの鉄骨製作図問題の是正・解消に向けたお願い(要望書)について
- [ 3 ] 福岡県建築士事務所政経研究会入会のお願い発送について
- [ 4 ] 令和6年度法定講習(建築士定期講習・管理建築士講習)実施計画、実施報告
- [ 5 ] 令和6年度既存住宅状況調査技術者講習実施計画、実施報告について
- [ 6 ] 福岡県建築登録センター関係
- [ 7 ] 日事連関係報告

#### 3. 報告事項

- [ 1 ] 次回会議等日程



## 令和6年度 第8回常任理事会報告

日時 令和6年11月12日(火)13:30～14:50

会場 舞鶴DSビル なごみA会議室

出席者 ZoomによるWeb会議併用、会長、副会長、常任理事、支部長、事務局15名参加

### 議題

#### 1. 協議事項

- [ 1 ]第3回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [ 2 ]令和6年度福岡県知事指定講習開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会開催について
- [ 3 ]令和6年度新入会員オリエンテーション開催について
- [ 4 ]建築倶楽部BIM推進協議会総会日程について
- [ 5 ]令和6年度第1回九州・沖縄ブロック協議会会長会議出席者、提案協議事項への回答について
- [ 6 ]事務局職員冬季賞与について
- [ 7 ]福岡建設会館賛助会員同居に伴う覚書・念書案について
- [ 8 ]その他

#### 2. その他

- [ 1 ]次回会議等日程

## 令和6年度 第3回理事会報告

日時 令和6年11月12日(火)15:00～17:00

会場 舞鶴DSビルなごみA会議室/Web会議併用

理事会構成者数及び出席者数 理事会構成者数 30名 出席者数 25名

### 議題

#### 1. 審議事項

- [ 1 ]新入会員の承認、退会会員の報告
- [ 2 ]その他

#### 2. 協議事項

- [ 1 ]令和6年度上半期会務、事業報告
- [ 2 ]令和6年度上半期収支報告
- [ 3 ]令和6年度中間監査報告
- [ 4 ]建築士事務所キャンペーン関連報告
- [ 5 ]福岡県、地元選出国會議員への建築士事務所登録手数料の見直しに関する要望書提出について
- [ 6 ]日事連との「BIMによる建築プロジェクト作成のための技法、技術研修」業務委託契約書締結について
- [ 7 ]令和6年度単体会組織強化支援事業「士業経営者のための事業承継セミナーの開催と相談会」実施について
- [ 8 ]福岡市拠点文化施設現場見学会開催について
- [ 9 ]事務局職員関係について
- [ 10 ]和みの会について

### 3. 報告事項

#### ■ [ 1 ] 県本部関係報告

- ① 第46回建築士事務所全国大会(福井大会)等開催報告
- ② 福岡県建築士事務所政経研究会入会者数について
- ③ 賛助会員の福岡県建築登録センター内事務所開設について
- ④ (仮称)太平洋沿岸地域地震等対策協議会参加報告
- ⑤ 令和6年度九州・沖縄設計4団体懇談会参加報告
- ⑥ 国土交通省からの令和7年度建築基準整備促進事業の事業課題の提案募集について
- ⑦ 会誌「日事連」令和7年1・2月号掲載予定「新年の抱負」執筆者選定について
- ⑧ 講習会、研修会関係実施報告、実施計画について
- ⑨ メールマガジン「建築福岡Quarterly」への寄稿のお願い
- ⑩ 部会開催報告
- ⑪ 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- ⑫ 年間スケジュール
- ⑬ その他

#### ■ [ 2 ] 支部・地域会報告

・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部

#### ■ [ 3 ] 日事連関係報告

### 4. その他

#### ■ [ 1 ] 相談役、監事から本日開催の理事会についての総括

#### ■ [ 2 ] 次回理事会開催日程について

## 令和6年度 第9回常任理事会報告

日 時 令和6年12月10日(火)15:00 ~ 17:00

会 場 (一社)福岡県建築士事務所協会 事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局10名参加

### 議 題

#### 1. 協議事項

##### ■ [ 1 ] 建築士事務所キャンペーンについて

- ・令和7年度建築士事務所キャンペーン担当について
- ・令和8年度以降の建築士事務所キャンペーンの担当について

##### ■ [ 2 ] 令和7年秋の叙勲・褒章候補者及び建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について

##### ■ [ 3 ] 令和7年行政、関係団体新年挨拶廻りの実施及び年賀状の送付について

##### ■ [ 4 ] 令和6年度新入会員オリエンテーション開催について

##### ■ [ 5 ] 建築倶楽部BIM推進協議会総会、システム部会、技術部会、実務部会開催について

##### ■ [ 6 ] 令和6年度高・専門学生コンペ入選者からの就職支援希望について

##### ■ [ 7 ] 令和6年度教育研修ツアー実施について

##### ■ [ 8 ] 支部間交流の実施について

##### ■ [ 9 ] 女性部会研修会・新年会開催について

##### ■ [ 10 ] 日事連組織強化支援事業(士業経営者のための事業承継セミナーの開催と相談会)実施について

##### ■ [ 11 ] 令和6年度日事政研寄附金等の納入について

##### ■ [ 12 ] 日事連広報・渉外委員会からの令和7年度共同要望項目検討のためのアンケートのお願いについて

- [13] 福岡県公共工事における建築設計業務の適正な発注と品質確保についての研修会について
- [14] 裁判所からの鑑定人候補者推薦の依頼について
- [15] 業界新聞令和7年新春特集号広告掲載のお願いについて
- [16] Design Review2025協賛のお願いについて
- [17] 事務局、福岡県建築登録センター冬季休暇について

## 2. 報告事項

- [1] 福岡県への建築士事務所登録手数料等の見直しに関する要望書提出について
- [2] 講習会、研修会開催報告、実施予定について
- [3] 令和6年度高・専門学生コンペ福岡市役所作品展示会実施報告
- [4] 福岡市拠点文化施設・現場見学会実施報告
- [5] 令和6年度福岡市施設整備公社主催建物の維持保全セミナー講師報告
- [6] 九州防衛局調達計画課からのお願いについて
- [7] 委員会・部会報告
- [8] 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- [9] 日事連九州・沖縄ブロック協議会関係
- [10] 日事連関係報告

## 3. その他

- [1] 次回会議等日程

## 北九州支部からのお知らせ

## 令和6年度 第4回 幹事会

- 日 時** 令和6年10月3日(木) 17:00  
**場 所** 八幡東生涯学習センター尾倉分館  
**参加者** 金子、高尾、高崎、望月、高濱、豊川、秋本、藤本、林、安東

## ◆ 議 題

## 1.入退会

- ・センクシア(株) 賛助会員として入会  
(2024/10月時点 正会員 74 社、賛助会員29 社)

## 2. 各委員会

## ■ 総務委員会

- ▶ 2025 年の県の総会の件
  - ★ 総会50 名 (16 時～17 時30 分)
  - ★ 懇親会100 名 (18 時～19 時30 分)
- 5月30日(金) ステーションホテル小倉 ※見積を取る(安東氏)

## ■ 技術委員会

- ▶ 勉強会 免振について 10月22日 13:20 より市役所にて

## ■ 事業委員会

- ▶ 研修旅行福山市・尾道市 9/14(土) 13 名参加
- ▶ 忘年例会の日程 12/4～6 で調整

## ■ 特別事業委員会

- ▶ 児童絵画展 表彰式 11/9(土) 9:00～12:00 子どもの館
- ▶ 後援団体への準備(協賛金依頼及び入金確認)
- ▶ 会場準備
- ▶ 賞品、賞状の準備(入賞者名と漢字のチェック)
- ▶ 進行表

## ◆ 報告事項

- ▶ 11月7日 建築士事務所キャンペーンについて



## 他、活動報告

### 児童絵画展 審査会

日時・場所 ▶ 令和6年10月3日(八幡東生涯学習センター尾倉分館にて)  
幹事会前に児童絵画展の審査会(796点から60点、各賞を選出)を行いました。

### 第24回令和6年度児童絵画展『ぼくのわたしの夢の住まい』

日時・場所 ▶ 令和6年11月9日(こどもの館(八幡西区黒崎COMCITY7F))  
来場者161名

本年度は、北九州市内の40校796作品の応募がありました。

- ・北九州市長賞 ・北九州市住宅供給公社理事長賞
- ・福岡県建築住宅センター理事長賞 ・福岡県建築士会 北九州地域会賞
- ・日本建築家協会 九州支部 北福岡地域会賞
- ・福岡県建築士事務所協会 北九州支部長賞
- ・他各学年金賞・銀賞・銅賞・佳作

総勢60名の子ども達を表彰することができました。



### 忘年例会

日時・場所 ▶ 令和6年12月5日 西日本工業倶楽部  
(余興 上野香織JAZZバンド)、出席者51名

本年度は、西日本工業倶楽部(旧松本邸)を舞台に、プロのJAZZピアニスト上野香織様をお招きしました。辰野金吾によるアールヌーボー様式の建築に響き渡るJAZZの音色はとても情熱的で、大変好評でした。



## 筑豊支部からのお知らせ

### 研修旅行のご報告

- 日 時 令和6年12月8日～12月9日
- 場 所 広島県広島市内
- 出席者 筑豊支部正会員8名 賛助会員3名 計11名

有名建築家による建物の見学や広島に歴史に触れる時間を会員・賛助会員の皆様と楽しみ親睦を深めたいと考え一泊二日で広島研修旅行を行いました。

1日目は、新幹線で移動後、谷口吉生氏設計の広島市環境局中工場を見学しました。中工場は、清掃工場でありながら美術館のような作りで、清掃工場としての使用が終われば、他の用途として使用できるように考えられているとのことでした。親睦会では、正会員、賛助会員共に話が尽きないようでした。



中工場



おりづるタワー

2日目は、三分一 博志氏設計の耐震改修がされた、おりづるタワーを見学ここでは、皆さん折り鶴を折り「おりづるの壁」に投入する体験をしました。原爆ドーム等散策しながら広島平和記念資料館へと向かいました。平和という言葉を改めて考えさせられる時間でした。



原爆ドーム



広島平和記念資料館



おりづるタワー 屋上

親睦を深め無事帰福することができ、参加の皆様にとって有意義な研修旅行となりました。



## 福岡地域会からのお知らせ

### 賛助会研修バスツアーを開催いたしました

令和6年 11月 14日(木)

【行程】博多駅筑紫口集合 ⇒ 建材試験センター西日本試験所 見学  
⇒ 割烹御食事処みちしお（昼食）小倉城・旦過市場 見学  
⇒ 博多駅着、夕食会



今年の賛助会バスツアーは、建材試験センター 西日本試験所にお伺いしました。こちらは構造物試験設備、材料試験設備の試験所です。建築物・土木構造物に使われる材料、部材などの要求性能を検証する試験などを西日本最大級のセンターで行われています。巨大な試験装置や、様々な条件での試験を行うための設備などを見学し、有意義な一日となりました。

午後は小倉城や復興が進む旦過市場を散策し、皆さま楽しく交流されていらっしゃいました。今年もご参加いただきありがとうございました。



### 令和6年度 福岡地域会忘年会を開催いたしました

令和6年12月19日(木)

レッドフランマ (ソラリア西鉄ホテル17階) 会員集会 18:00～ /忘年会 18:30～

福岡地域会会員集会をソラリア西鉄ホテルのレッドフランマにて開催いたしました。令和6年度上半期の事業報告を行い、その後は引き続き忘年会にてお酒とお食事を楽しんでいただきました。最終的に総勢60名の皆さまにお越し頂き大変盛況な会となりましたことを、感謝申し上げます。



## 県南支部からのお知らせ

### 研修旅行のご報告

11月15日と16日の日程で、事業委員会の企画による「研修旅行」が行われ、会員・賛助会員合わせて21名が参加し、熊本市へのバスツアーを行いました。

1日目は「こども本の森（設計 安藤忠雄）」を見学し、昼食後は「エバーフィールド木材加工場」をめぐり、夜は熊本城を見渡す事が出来る「城見櫓」での懇親会で、熊本郷土料理を楽しみながら情報意見交換を行う事が出来ました。



こども本の森



エバーフィールド木材加工場

2日目は「熊本地震震災ミュージアムKIOKU」・「南阿蘇鉄道高森駅」を見学し、昼食後に「一の宮阿蘇神社」で締めくくりました。今回の研修では、2016年の熊本地震から8年を経過して場所をめぐり、自然災害の脅威と多くの方々が助け合って復興した熊本市と近郊を実感する事が出来ました。また、見学した建築物から木構造の素晴らしさも学び取る機会にもなりました。

今回の旅は、11月7日に県南支部を中心とした準備・運営により開催された「建築士事務所協会キャンペーン」の慰労も兼ねての研修旅行でしたが、秋深まる熊本の自然を感じつつ、日頃の喧騒を忘れ大いに語り合い懇親を深める旅行になりました。企画、準備、当日のアテンドまで尽力頂いた権藤事業委員長に深く感謝いたします。

県南支部 広報・渉外委員会 井上 文雄



南阿蘇鉄道高森駅



熊本地震震災ミュージアムKIOKU

# 11

## 会員動静

### 新入会員のご紹介

会社名 東洋シャッター(株) 九州支店

■担当者：笹壁 守人

■所在地：糟屋郡粕屋町

■営業種目：銅製建具工事

福岡地域会賛助会に入会されました





副会長 岡松 孝則 さん

## いまさらですが、数学のおもしろさについて

原稿を書くにあたってお題はなんでもいいということでしたので今、関心があること、数学について書いてみます。（ものすごく詳しい方もいると思いますが素人のざれごととお見逃してください！）

そもそも私たちの仕事は建築設計関連、ということである程度初歩的な計算はやります。例えば三角関数を利用したり部分的な構造計算など。

が、いろいろ調べてみると数学って奥が深くまた歴史的にも大変面白い、ということが分かってきました。例えばこんな式があります。

$$\frac{1}{1^2} + \frac{1}{2^2} + \frac{1}{3^2} + \frac{1}{4^2} + \frac{1}{5^2} + \dots = 1 + \frac{1}{4} + \frac{1}{9} + \frac{1}{16} + \frac{1}{25} + \dots$$

自然数の2乗の逆数を順に足したものです。ずっとやると近似値的に1.644・・・という数字に近づいていきます。でもその数字が何を意味するのか91年間不明でした。そして1735年、それを解決したのが天才数学者オイラーでした。結果は以下になります。

$$\frac{1}{1^2} + \frac{1}{2^2} + \frac{1}{3^2} + \frac{1}{4^2} + \frac{1}{5^2} + \dots = \frac{\pi^2}{6}$$

ここで円とは何の関係もないと思われるところになんと円周率 $\pi$ が現れます。不思議じゃないですか？

話変わりますが、最近一番面白かったのが対数関数 $\log$ の誕生についての経緯です。

対数関数は指数関数と対をなすもので、簡単にいうと数の指数に着目し、掛け算を指数の足し算、割り算を指数の引き算に置き換え、大きな数の計算を容易にするというものです。

また、音の測定値など桁数のばらつきが極端に大きい数字は、対数は取るとわかりやすい数値になります。この辺は高校の時に習うもので、その時は無理に公式を暗記させられ、何のためにそういうことをやるのかと数学が苦手になったという人も多いのではないのでしょうか。私もその一人です。

対数が生まれたのは17世紀のヨーロッパで、新大陸発見、海外貿易に沸いた大航海時代です。航海士たちは星をたよりに天文学、三角関数を用い常に自分たちの船の位置を計算する必要がありました。そのために10桁以上の掛け算がおこなわれたということで、誤った結果は船の座礁、難破、漂流を招き最悪死につながるようになります。10桁の掛け算、ということは結果20桁の数字になります。電卓もない時代にまさに命がけの煩雑な計算ですね。

そんな時代、対数は1614年にスコットランドの城主であり貴族でもあったジョン・ネイピアの研究によって誕生しました。これにより大きな数字の計算が飛躍的に容易になりました。

以下にいくつか関数の公式をまとめました

指数関数 (aは“底”という)

指数関数 (aは“底”という)

$$a^m \times a^n = a^{m+n} \quad \dots\dots①$$

$$a^m \div a^n = a^{m-n} \quad \dots\dots②$$

$$(a^m)^n = a^{mn} \quad \dots\dots③$$

対数関数 (aは“底”という。a=10の場合は常用対数といい、ここではaの数字を省く)

$$\log_a MN = \log_a M + \log_a N \quad \dots\dots④$$

$$\log_a M/N = \log_a M - \log_a N \quad \dots\dots⑤$$

$$\log_a M^n = n \log_a M \quad \dots\dots⑥$$

ここで上記 公式を1つ使って簡単な掛け算をしてみます。

253×179の計算を対数を使って行います。

まず253×179の対数をとります。

$$\begin{aligned} \log(253 \times 179) &= \log 253 + \log 179 && \text{(公式④より)} \\ &= \log(100 \times 2.53) + \log(100 \times 1.79) \\ &= \log 10^2 + \log 2.53 + \log 10^2 + \log 1.79 && \text{(公式④,より)} \\ &\doteq 2 + 0.4031 + 2 + 0.2529 \quad (\log 10^2 = 2, \text{ また常用対数表より } \log 2.53 = 0.4031, \log 1.79 = 0.2529) \\ &= 4 + 0.656 \\ &= \log 10^4 + \log 4.53 && (4 = \log 10^4, \text{ また常用対数表より } 0.656 \text{ を } \log 4.53 \text{ にもどす)} \\ &= \log(10^4 \times 4.53) && \text{(ここではじめて簡単な掛け算をおこなう)} \\ &= \log 45300 \end{aligned}$$

結果、対数を使うと 253×179≐45,300となります。(常用対数表を使うので近似値になる)  
この計算が電卓では 253×179=45,287となり対数関数と比較して誤差はわずか0.03%以内です。  
17世紀に誕生した対数のすばらしさが分かっていただけたでしょうか

また対数は地震のマグニチュード5とか6とか膨大な地震エネルギーの指標にも使われます。  
以下マグニチュードMと地震エネルギーEとの関連式は以下です。

$$\log_{10} E = 4.8 + 1.5M$$

ということはこのlogは常用対数なのでマグニチュードの数字がひとつ増えると指数が1.5増えることを示しています。するとこれは実の数に直すと $10^{1.5} = 31.62$ つまり約32倍のエネルギーになり、二つ増えると $10^3$ なので1000倍のエネルギーの増加を示しています。

このようにまだ対数もいろいろな切り口があります。  
老境になって数学に興味をもち、すこしずつ面白さが分かってきました。今後もっといろいろ知って  
いけたらと思っています。





常任理事 金子 幸生 さん

## NIKKENホールディングス杯オープンゴルフトーナメント

常任理事（会計担当）の金子幸生です。

令和4年10月（2022年）に「本社ビルの建て替え計画から完了まで」が掲載されて2年半が経過しましたが、これが5回目の寄稿になると思います。今回は視点を変えて、持株会社であるNIKKENホールディングス株式会社が特別協賛しているゴルフトーナメントの紹介をさせていただきます。

持株会社を設立したのは令和4年10月ですが、翌年の令和5年7月に、レギュラーツアーの年間シード権を持たない男子若手プロゴルファーに試合の出場機会を作ることを目的として、第1回大会を開催いたしました。九州プロゴルフ研修会という、九州地区212名のプロゴルファーで構成されている団体が主催する「九州サーキット」という年間6試合のツアーですが、その中の1つの大会です。

九州サーキットはレギュラーツアーやチャレンジトーナメントへの登竜門とも言われ、この九州サーキットでの優勝や上位入賞を機にチャレンジトーナメントに出場、そしてレギュラーツアーへの出場機会を得て結果を出すなど、現在も多くの選手が活躍し、レギュラーツアーのシード選手も数多く輩出してきた、26年の歴史を有する九州独自のツアーです。

NIKKENホールディングス杯の第1回大会は太宰府ゴルフ倶楽部で開催され、2日目の決勝ラウンドが雨天中止となり、初日の成績でチェリーゴルフ所属の遠藤健太プロが7アンダーで優勝、令和6年7月の第2回大会は筑紫野カントリークラブで開催され、2日間トータル13アンダーでフリーの古川龍之介プロが、元賞金王の比嘉一貴プロを1打差で振り切って優勝しました。



NIKKEN HD杯



古川龍之介プロ



比嘉一貴プロ



古川龍之介プロは既にチャレンジトーナメントに出場していましたが、このNIKKENホールディングス杯での優勝を認められ、翌8月のレギュラーツアー、Sansan KBCオーガスタに主催者推薦で出場して10位タイという結果を出し、多くの関係者の声援に応え大いに活躍しました。

KBCオーガスタの上位入賞者となったことで翌週のフジサンケイクラシックに出場、続く9月のANAオープンにも出場して8位タイの好成績を収めました。また、11月のカシオワールドオープンでは選考会で上位4人に食い込んで出場権を獲得するなど、これからの活躍が期待できる注目選手へと成長しました。



九州サーキット第22回  
NIKKENホールディングス杯  
オープンゴルフトーナメント

PLAYERS	SCORE	HOLE	PLAYERS	SCORE	HOLE
古川 龍之介	-13	F	木下 康平	-9	F
比嘉 一貴	-12	F	城 孝孝	-9	F
山田 玄	-12	F		-9	F
梅山 知				-2	F
中村 志				+5	F
照屋 佑唯				+7	F

リーダーボード



2024年の国内女子ツアーが37試合だったのに対し、国内男子ツアーは24試合ということで大きな差があります。年間シード権を持たない選手を対象とした前述の「チャレンジトーナメント」も年間12試合ありますが、女子「ステップ・アップ・ツアー」の22試合に比べると10試合も少ないのが現状です。



国内男子プロゴルフ界の発展の一助となればと特別協賛を始めた地元のゴルフトーナメントですが、第3回大会が今年の7月17日、18日に福岡センチュリーゴルフ倶楽部で開催されることが決まっています。微力ではありますが、これからも若手男子プロゴルファーが挑戦できる舞台を提供し続けていきたいと考えています。





常任理事 高桑 圭輔 さん  
**櫻井神社・桜井大神宮**

先日、好天に恵まれた週末にドライブがてら櫻井神社・桜井大神宮に参拝して参りました。

まずは二見ヶ浦の海中大鳥居（写真①）に参拝。二見ヶ浦は櫻井神社の宇良宮として祀る御神体とされています。寒風が吹き白い波頭が立つ海中に屹立する大鳥居と夫婦岩は凜とした美しさを湛えていました。

二見ヶ浦より車で数分、櫻井神社へ到着（写真②）。櫻井神社は福岡藩二代目藩主黒田忠之公が創建した「櫻井神社」と伊勢神宮の内宮・外宮の両宮のご分霊を奉じ、ご鎮座頂いた「櫻井大神宮」からなります。

（写真③）古墳の上に覆屋を架け岩戸と称し、前方に本殿、拝殿、楼門を並べる独特の構成となっています。三間社流造の本殿は組物や臺股彫刻等を極彩色で豊かに飾る意匠となっており、拝殿、楼門と共に重要文化財に指定されています。

（写真④⑤⑥）整ったプロポーションと細部の意匠、境内にある数棟の合祀神社建築のいずれも魅力があり、飽くことなく眺めていられます。



1



2



3



4



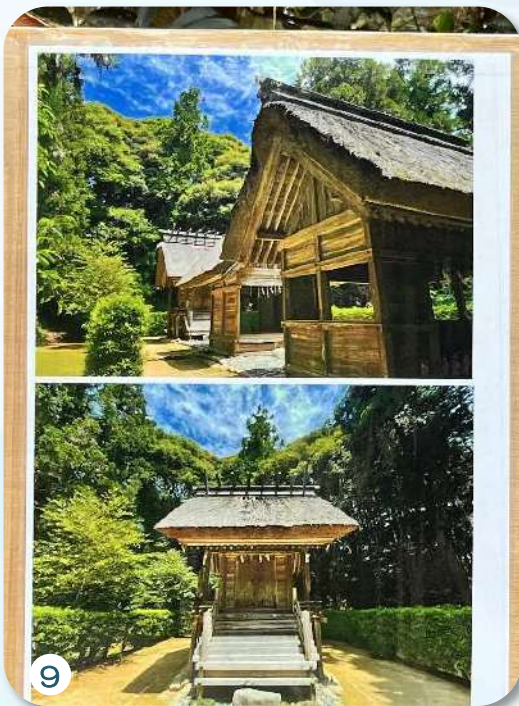
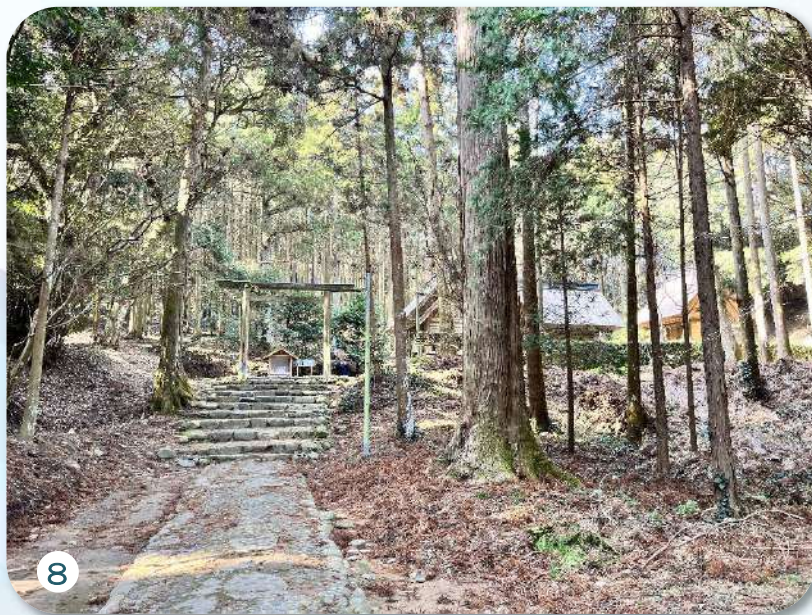
5



6



いよいよ櫻井大神宮へ。櫻井大神宮は寛永二年（1625）に岩戸神窟の西南の地、光寿山へ神明造り茅葺の社殿を造営し、伊勢神宮の内宮・外宮の両宮のご分霊を奉じ、ご鎮座頂いたことが創祀とのことです。大鳥居をくぐり、急な石段を上ると空気が一変します。（写真⑦）大木に囲まれた静謐な石畳の参道を進むと、伊勢鳥居と神明造り茅葺の社殿が見えて参ります。（写真⑧）ご神域に一步近づくと緊張感が高まり、徐々に身が引き締まっていきます。伊勢鳥居をくぐると手前から拝殿・中殿・本殿の三殿が並んでいます。



本殿建築の特筆すべき点は、千木が左右非対称となっていることです。内宮・外宮を一宇に合祀しており、千木の向って右が内削ぎ（水平切り）で内宮（天照大御神）を現し、向って左が外削ぎ（垂直切り）で外宮（豊受大御神）を現している独自の建築様式となっています。（写真⑨ ※恐れ多いため看板の写真を撮影）本来は20年ごとに式年遷宮が執り行なわれていましたが、第13回目にして止まり、現在の社殿は慶応二年（1866）のもので、150年近く経っているとのことです。

参拝を済ませ、清らかな気持ちで鳥居前のお店にて揚げたてのコロッケを頂きました。帰り道で糸島産の新鮮な卵を買い求め、帰宅後に卵かけご飯を食べながら良い参拝ができたことを振り返りました。改めて福岡という地が海・山・神々そして美味しい食べ物に恵まれたところであることに感謝した次第です。皆さまも糸島方面を訪れた際はぜひ足をお運びください。